

# 年金は本当にもらえるのか？

9月25日 中嶋ゼミ  
英米学科 3回 杉村 麻佑

## 年金制度

- ・賦課方式

→現役世代がその時点の高齢者の年金を負担する方式

- ・積立方式

→現役時代の間自分で年金の掛け金を積み立てておき、  
高齢になってから自分で受け取っていく方式



「世代間の助け合い」が成り立っていない今、

賦課方式 → 積立方式 ???

積立方式に移行するとなると・・・

①引退時を迎えた世代の人たち  
年金はもらえる、変化なし  
誰からどう調達？

②現役の世代  
賦課方式にとどまっていた場合に生じていた損失が解消  
引退した世代の年金を負担するのは現役世代とそれ以降の世代・・・

・移行期に差し掛かった世代

{ 自分の老後に備えて保険料を負担  
引退している世代の年金財源を負担

「二重負担」?

老後に備えた保険料は将来受け取るので、  
真の問題となるのは  
引退している世代の年金債務をどう負担するか

→積立方式への移行によるメリット相殺



## スウェーデン方式(1999)

### 特徴

1. 所得比例年金。保険料率18.5%固定。
2. 最低保障年金
3. 2.5% 積立方式 + 16% 賦課方式 = 18.5%
4. 自動財政均衡メカニズム





# 年金問題

神戸市外国語大学3年 中国学科  
津浦 瑞規

- それでも皆さん年金払いますか？
- この文献を読んであなたには何ができると感じますか？
- またどうしようと思いますか？

# 年金に関する“あれこれ”

神戸外大 国際関係学科 三回  
田中 亨弥

少子高齢問題

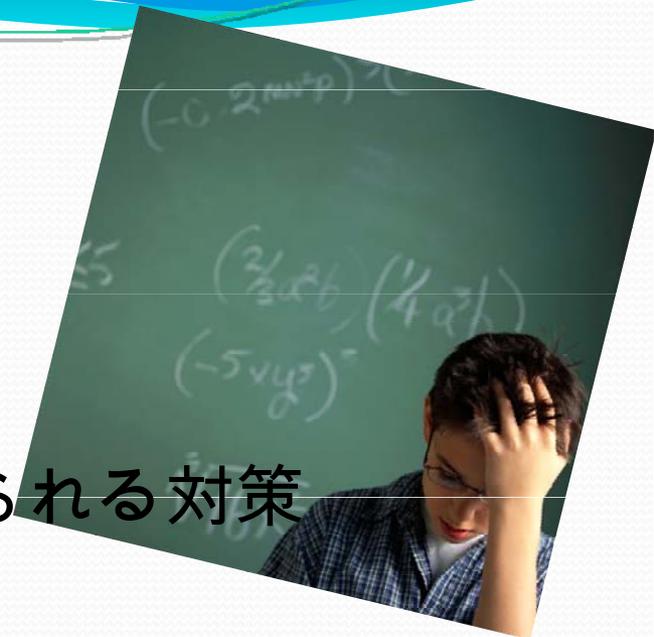


国内

国外

労働力不足に考えられる対策

- 1 高齢者の活用
- 2 女性の活用
- 3 移民、在留外国人の



年金問題



# 年金制度を難しくさせるもの



- 受給者によって、制度がバラバラであること。
- 制度が短期的に改革され、すぐに新たな制度へと移行する。
- マスコミや政府や他の公的機関によって難しい言葉にすぎ替えられている。  
ex) 「マクロ経済スライド」「所得代替率」「有限均衡方式」





# 年金の種類



- 国民年金・・・自営業、農林水産業、無業者や非正社員の多くが加入。
- 厚生年金・・・民間企業のサラリーマンとその専業主婦が加入。
- 共済年金・・・公務員とその専業主婦が加入
- 基礎年金制度・・・国民の全員が加入。財政支援の為？



# 年金は本当にもらえるのか？

- 学生は実感が湧かないだろう。

➡ しかし、若い人ほど関心を示さねばならない。



- 数年先のみならず、数十年数百年先を見据えることが必要である。
- 年金の仕組みを、少子高齢社会が与える影響とともにみていこう。

